出雲市環境レポート

平成26年度（2014）のまとめ

出　雲　市

表紙の写真
　斐伊川［観光交流推進課］

目　次

Ⅰ　はじめに…… 2

Ⅱ　出雲市の環境の状況
1　生活環境…… 3
2　自然環境…… 5
3　快適環境…… 6
4　地球環境…… 7
5　循環型社会の構築…… 8

Ⅲ　出雲市の環境への取組
1　澄んだ空気ときれいな水に潤い　健康に暮らせるまち
1－1　大気環境の保全…… 9
1－2　水環境の保全……10
1－3　健康に暮らせる環境の保全……12
2　人と自然がふれあい　ともに生きるまち
2－1　野生動植物との共生……14
2－2　豊かな自然とのふれあい……14
2－3　森林と農地の保全と再生……15
3　悠久の歴史が息づく　美観と快適空間のまち
3－1　景観保全と緑地の確保……18
3－2　環境美化の推進……20
4　地球を考え　地域から実践するまち
4－1　地球温暖化防止の取組……22
4－2　地球規模での環境問題への取組……25
5　「もったいない」の心で築く　循環型のまち
5－1　廃棄物対策と資源循環の推進……26
5－2　環境と経済の好循環の推進……28
6　ともに学び行動する　環境意識が高いまち
6－1　環境学習・環境保全活動の推進……29
6－2　環境情報の提供と共有……30

Ⅳ　出雲市役所の取組
1　平成 26 年度の取組結果等……31

Ⅰ　はじめに

出雲市では、平成 19 年 3 月に「出雲市環境基本計画」を策定しましたが、計画策定以降、東日本大震災を契機とした国のエネルギー政策の見直しや斐川町との合併による市域の拡大など、本市を取り巻く状況は大きく変化し、新たな課題に取組む必要が出てきたことから、平成 25 年 3 月、「第 2 次出雲市環境基本計画」を策定しました。

また、地球温暖化防止や省エネ対策等の取組みを市、市民、事業者が協働して推進するため、平成 20 年 2 月に、「出雲市地域省エネルギービジョン」を策定しました。

出雲市環境レポートは、出雲市の環境の状況等を明らかにするとともに、これらの計画に掲げた施策や目標の進捗状況を点検・評価することで、市民の環境への関心を高め、情報の共有を図ることを目的とし、毎年発行することとしています。

【平成 26 年度の概要】

環境基本計画では、6 つの基本目標を推進するために、各施策において数値目標（44 項目）を掲げています。

平成 26 年度の数値目標の達成状況は、①中間目標値（平成 29 年度）を達成した項目が 21（前年度 16)、②中間目標値までは達成できなかったが、前年度値（基準値）より改善した項目が 17（前年度 19)、③前年度値（基準値）から悪化した項目が 6（前年度 9）であり、改善傾向にあります。しかし、23 項目については中間目標値を達成していないため、平成 29 年度の中間目標の達成に向けて、より積極的な取組みを行う必要があります。

出雲平野の築地松

Ⅱ　出雲市の環境の状況

私たちの暮らしは、大気や水などの自然環境や生活環境など、様々な環境基盤の上に成り立っています。出雲市の環境の状況を、分野ごとに報告します。

1　生活環境

⑴　大気環境

大気汚染は、工場・事業場や自動車などから汚染物質が排出されることによって起こります。大気汚染物質の濃度が高くなると、人の健康や動植物の生育に悪影響を及ぼします。

ア　大気の環境基準達成状況

市内では、出雲保健所で二酸化硫黄(SO_2)などの大気汚染物質を常時監視しています。

平成 25 年度の環境基準達成状況は、次表のとおりでした。光化学オキシダント（Ox）が環境基準を達成していないものの、それ以外は概ね良好でした。

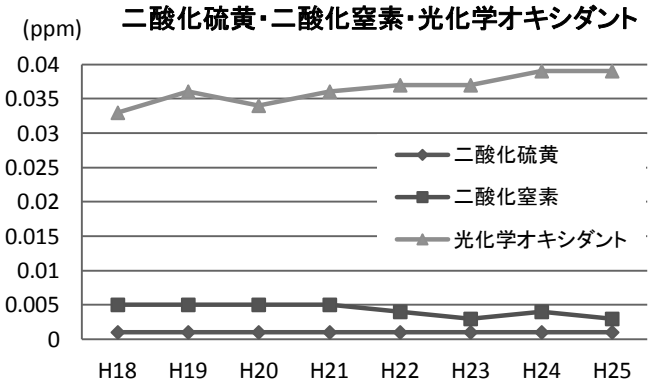
大気の環境基準達成状況

大気汚染物質名	基準年度（H22 年度）	現状（H25 年度）	環境基準
二酸化硫黄（SO_2）	○	○	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下で、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下
二酸化窒素（NO_2）	○	○	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下
浮遊粒子状物質（SPM）	○	○	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m^3 以下で、かつ、1 時間値 0.20mg/m^3 以下
光化学オキシダント（Ox）	×	×	1 時間値が 0.06ppm 以下

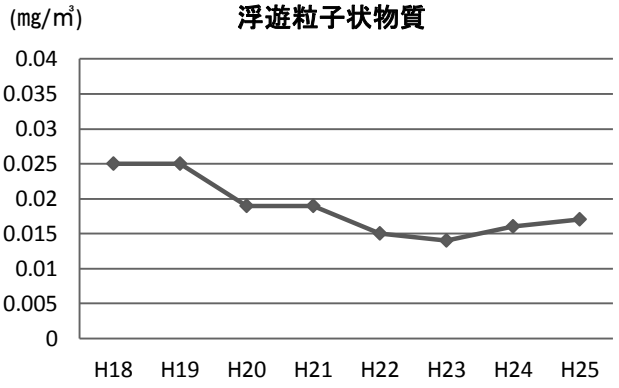
※環境基準達成状況：○達成、×未達成

イ　汚染物質（年平均値）の推移

主な汚染物質ごとの年平均値の推移は次の図のとおりです。



（測定局：出雲保健所）



（測定局：出雲保健所）

※光化学オキシダントは、昼間(5 時～20 時)の 1 時間値を年平均した値

出典：島根県の大気汚染測定結果報告書

年平均値の経年変化を見ると、近年、二酸化硫黄（SO_2）、二酸化窒素（NO_2）、浮遊粒子状物質（SPM）は概ね横ばい、光化学オキシダント（Ox）は微増傾向を示しています。

近年、微小粒子状物質（PM2.5）濃度の上昇がたびたび観測されるようになり、環境省が定めた指針値を超えると予想した場合は、注意喚起を実施することにしています。

平成 26 年度は、指針値を超えることはありませんでした。

⑵　水環境

市内の公共用水域において、33 河川、2 湖沼、1 海域で水質調査を実施しています。

このうち、環境基準の類型があてはめられている 4 河川、2 湖沼、1 海域の BOD 又は COD の環境基準達成状況は、下表のとおりです。

平成 26 年度は、1 河川、2 湖沼において環境基準を達成しませんでした。

河川の水域別 BOD 環境基準達成状況（BOD75%値の経年変化）

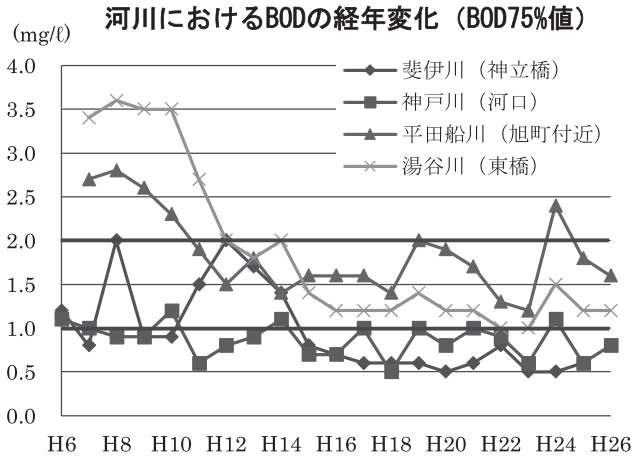
水域名		環境基準			H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
		類型	基準値	地点数								
斐伊川	本川	AA	1mg/ℓ以下	2	0.7	0.6	0.6	0.8	0.6	0.6	0.7	0.7
神戸川	上流	AA	1mg/ℓ以下	2	0.6	0.8	1.0	1.0	0.8	1.2	1.2	1.2
	下流	A	2mg/ℓ以下	2	1.0	0.8	1.0	0.9	0.6	1.1	0.6	0.8
平田船川	上流	A	2mg/ℓ以下	1	1.2	1.4	1.6	1.2	1.2	1.8	1.7	1.5
	下流	A	2mg/ℓ以下	1	2.0	1.9	1.7	1.3	1.2	2.4	1.8	1.6
湯谷川	上流	A	2mg/ℓ以下	1	1.2	1.1	1.2	0.8	1.0	1.5	1.1	1.3
	下流	A	2mg/ℓ以下	1	1.4	1.2	1.2	1.0	1.0	1.5	1.2	1.2

湖沼・海域の水域別 COD 環境基準達成状況（COD75%値の経年変化）

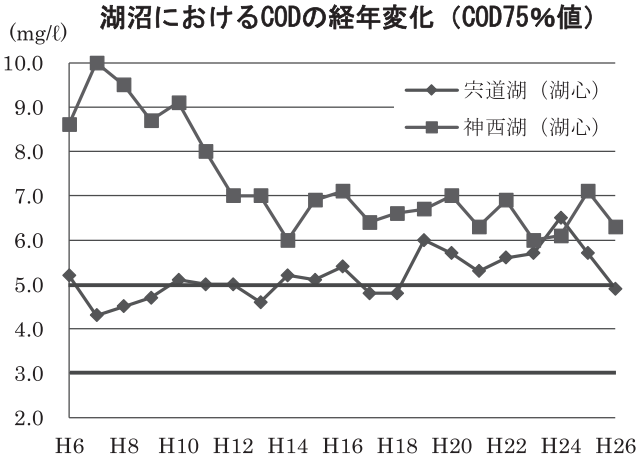
水域名	環境基準			H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	類型	基準値	地点数								
宍道湖	A	3mg/ℓ以下	5	6.2	6.1	5.5	5.9	6.1	6.5	5.7	4.9
神西湖	B	5mg/ℓ以下	2	6.7	7.0	6.3	6.9	6.0	6.1	7.1	6.3
おわし海水浴場	A	2mg/ℓ以下	1	1.8	1.7	1.8	1.8	1.6	1.6	1.6	1.4

出典：島根県公共用水及び地下水水質測定結果の概要

※表中の経年変化数値について、各水域において環境基準地点が複数ある場合は、その中で最も高い数値の地点の値を記載。
また、網掛は基準達成したもの。（経年変化数値の単位はすべて mg/ℓ）



※斐伊川の環境基準値：1mg/ℓ 以下、
神戸川（下流）、平田船川、湯谷川の環境基準値：2mg/ℓ 以下



※宍道湖の環境基準：3mg/ℓ 以下、神西湖の環境基準：5mg/ℓ 以下

河川の水質は、下水道の整備や合併処理浄化槽の普及に伴って改善されてきており、近年は、概ね良好な状況で推移しています。

また、宍道湖、神西湖の水質の経年変化を見ると、宍道湖、神西湖の COD75%値はほぼ横ばいになっています。

⑶　騒音・振動・悪臭

平成 26 年度の騒音、振動、悪臭の苦情は、騒音は 9 件で前年度に比べて 3 件減少、振動は

2 件で 1 件増加、悪臭は 2 件で 7 件減少しました。

自動車騒音については、「自動車騒音常時監視５カ年計画（平成 24 年策定）」に基づき調査を実施しています。平成 26 年度は、市内の主要な幹線道路に面する 3 区間の面的評価を行いました。今回評価対象となったのは 942 戸で、全戸とも昼夜の環境基準を達成しました。

幹線道路の環境基準達成状況（平成 26 年度）

路線名	評価区間始点～終点	評価対象戸数	環境基準達成戸数	環境基準達成率
一般国道 9 号	斐川町荘原　～　斐川町併川	458 戸	458 戸	100%
一般国道 184 号	塩冶町　～　朝山町	369 戸	369 戸	100%
斐川出雲大社線	高岡町　～　大社町北荒木	115 戸	115 戸	100%

⑷　ダイオキシン類

ダイオキシン類は、微量でも人の健康に有害な影響を及ぼすおそれのある物質で、出雲保健所がダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視を行っています。

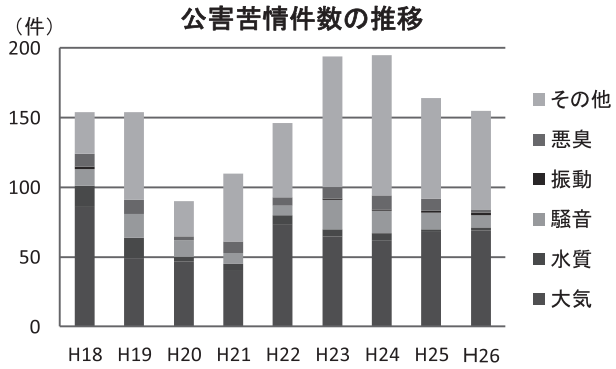
平成 26 年度は、大気 1 地点、水質（地下水）1 地点、土壌 2 箇所で調査を行い、すべての地点で環境基準を達成しました。

⑸　公害苦情

平成 26 年度に受理した公害苦情の件数は、前年度に比べて 9 件減少し 155 件でした。

そのうち、廃棄物の野焼き等大気の苦情が 69 件で全体の 44.5%を占めており、市街地や新興住宅地周辺での苦情が増えています。

公害苦情に対しては、地域の生活環境の保全や、紛争の未然防止のために適切な処理に努めています。



2　自然環境

出雲市には、北山や南部山地の森林、出雲平野の田園、日本海の砂浜や、岩礁、斐伊川や神戸川等の河川、宍道湖や神西湖等の湖沼など多様な生息・生育環境があり、豊かな生態系が形成されています。

⑴　水生生物

市では、平成 13 年度から公益財団法人ホシザキグリーン財団に委託し「希少水生生物、外来水生生物、希少種の鳥類等についての生息調査（出雲市自然環境調査研究事業）」を実施しています。

平成 26 年度は、斐川地域の水路や河川の 20 地点で調査を行い、合計 106 種の生物を記録しました。水生動物では、シンジコハゼやクルマヒラマキガイなどの希少種を確認しました。水生植物では、ミズオオバコとミクリ属の一種が確認されました。外来水草の調査では、要注意外来生物であるハゴロモモ、オオカナダモ、コカナダモ、ホテイアオイの 4 種類を確認しました。

⑵　外来生物

ヌートリア、アライグマやブラックバス、ミドリガメなどの外来生物は、人間の活動に伴

い持ち込まれた生物で、自然や地域固有の動植物に大きな脅威を与えています。

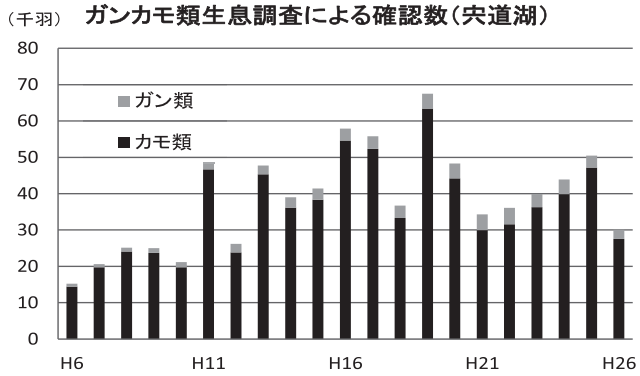
さらに、環境省では外来生物のうち、海外起源で人体や生活環境等に大きな悪影響を及ぼすおそれのある生物を、「特定外来生物」とし、飼養・栽培・保管・運搬等を規制しています。

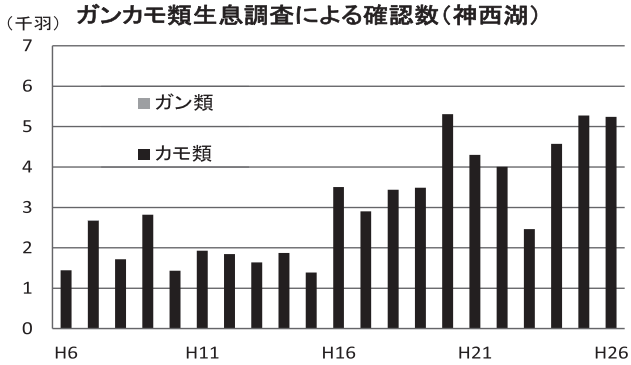
その特定外来生物である「セアカゴケグモ」が平成 26 年 9 月、山陰地方で初めて発見されました。市では、それらによる被害を防ぐため、ホームページ等で注意喚起を行っています。

⑶　渡り鳥

宍道湖は、全国でも有数の冬鳥の渡来地で、「ラムサール条約湿地」に登録されています。島根県が毎年実施している生息調査において、カモ類は、平成 4 年から平成 19 年までは増加傾向にありましたが、その後は減少傾向にあります。

一方、神西湖においては、多数のカモ類が確認されています。





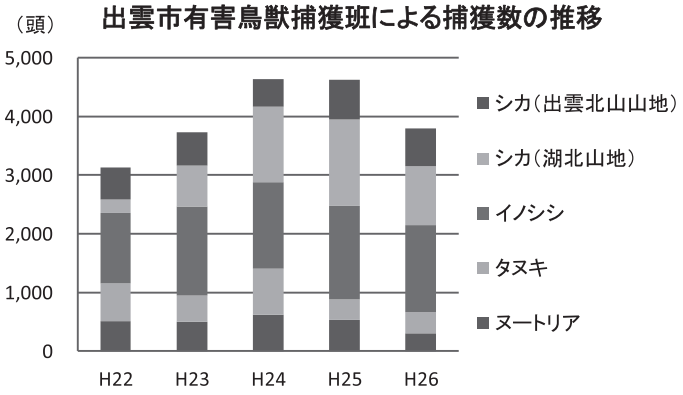
⑷　野生鳥獣の保護管理

シカは、主に北山山系（出雲北山山地、湖北山地）に生息し、造林木や果樹等を中心に被害を発生させています。捕獲等による積極的な対策を講ずる一方で、生息目標頭数（適正な頭数）180 頭を目指している出雲北山山地では、適正な生息環境の整備も必要です。

イノシシは、市南部の中山間地を中心に生息し、水稲等に深刻な被害を発生させています。近年は、北山山地へも生息域が拡大しており、捕獲等による被害防止に向けた対策が必要です。

ヌートリアは、斐伊川・神戸川水系の下流域及び神西湖周辺を中心に生息し、野菜等に被害を発生させています。近年は、中山間地域の河川上流域、ため池等に生息域が拡大しています。

アライグマは、以前から野生化したアライグマの農作物被害が、県西部を中心に確認されていましたが、平成 26 年には市内においても生息が確認され、1 頭捕獲しました。



3　快適環境

⑴　公園緑地

出雲市の緑環境の基幹となる都市公園は、広域公園である県立浜山公園のほか、一の谷公園、真幸ヶ丘公園、斐川公園、湖陵総合公園、愛宕山公園の 5 か所の総合公園、2 か所の地区公園、5 か所の近隣公園、87 か所の街区公園、5 か所の都市緑地の計 104 か所、手引ヶ丘

公園などの普通公園 86 か所、出雲健康公園などのその他公園 17 か所が整備されています。

出雲市の公園緑地面積（平成 27 年 3 月 31 日現在）

地　域	人　口	都市公園	普通公園	その他公園	計	1人当たり
出　雲	90,105人	870,700m^2	104,161m^2	163,240m^2	1,138,101m^2	12.6m^2
平　田	26,312人	289,025m^2	15,608m^2	88,092m^2	392,725m^2	14.9m^2
佐　田	3,630人		2,572m^2	105,152m^2	107,724m^2	29.7m^2
多　伎	3,677人		201,619m^2	56,273m^2	257,892m^2	70.1m^2
湖　陵	5,422人	113,260m^2	465m^2		113,725m^2	21.0m^2
大　社	15,056人	327,400m^2	1,314m^2	45,333m^2	374,047m^2	24.8m^2
斐　川	27,896人	198,756m^2	9,416m^2	312,908m^2	521,080m^2	18.7m^2
計	172,098人	1,799,141m^2	335,155m^2	770,998m^2	2,905,294m^2	16.9m^2

※人口には外国人を含まない。

⑵　築地松景観

出雲平野の自然と文化に根ざした築地松の織りなす景観は、出雲地方独特の景観であり、全国に誇れる本市の貴重な資産です。

しかし、近年は松くい虫の被害や築地松を剪定する職人の不足、そして生活様式の変化によって、築地松景観が失われてきています。このため、築地松景観保全対策推進協議会では、平成 25 年 1 月から 3 月にかけて「出雲平野における築地松実態調査」を行うなど、その状況把握に努めています。

また、松くい虫の被害は、平成 24 年度以降に防除対策を強化したことにより減少傾向にありますが、依然として被害は発生しています。

4　地球環境

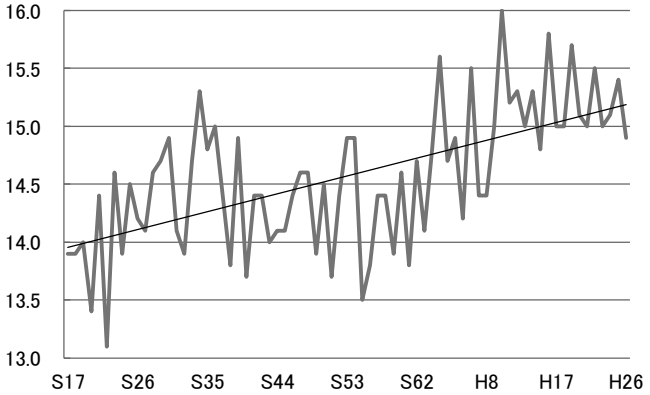
⑴　年平均気温の推移

松江地方気象台における平成 26 年の年平均気温は 14.9℃でした。昭和 17 年からこれまでの平均気温の推移を見ると、ここ 70 数年の間に 1.0℃上昇しています。

また、平成 26 年の夏の平均気温は、平成 15 年以来 11 年ぶりの冷夏となり、日照時間もかなり少ない天候となりました。

地球温暖化は、人間を含めた生物の営みに大きな影響を与える問題であり、世界規模での取組みが喫緊の課題となっています。

松江地方気象台における年平均気温の推移



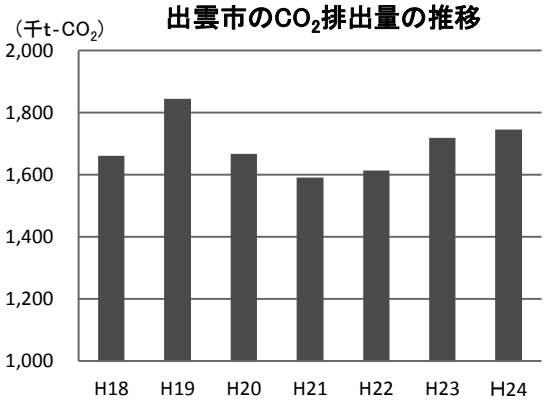
⑵　二酸化炭素（CO_2）排出量の推移

二酸化炭素（CO_2）は、地球温暖化の要因となる「温室効果ガス」の 90%以上を占め、その排出量は、地球温暖化対策の目標指数となっています。

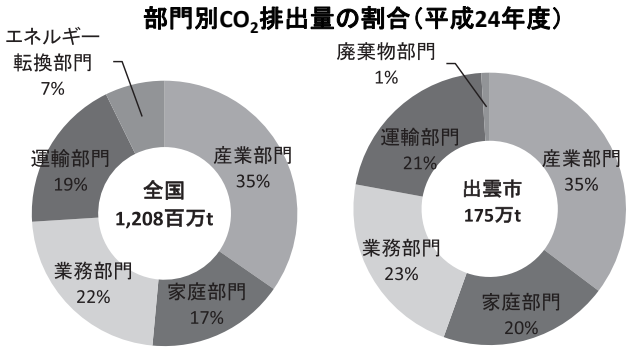
出雲市の平成 24 年度の CO_2 排出量は、出雲市地域省エネルギービジョンで定めた基準年度（平成 18 年度）に比べると、約 5.1%（約 85 千 t-CO_2）増となりました。

部門別の CO_2 排出割合を全国と比較してみると、エネルギー転換部門がほとんどなく、運輸部門、家庭部門の割合が高くなっています。これは、製造業などよりも、自動車の燃料用や家庭の空調・照明用などでのエネルギー消費が多いためと推察できます。

家庭部門での CO_2 排出割合が高くなっている理由として、家庭用機器のエネルギー消費量が機器の大型化や多様化により増加していることや、世帯数の増加などが考えられます。



※環境省 HP「部門別 CO_2 排出量の現況推計」より作成



※全国の排出量は環境省資料より作成

5　循環型社会の構築

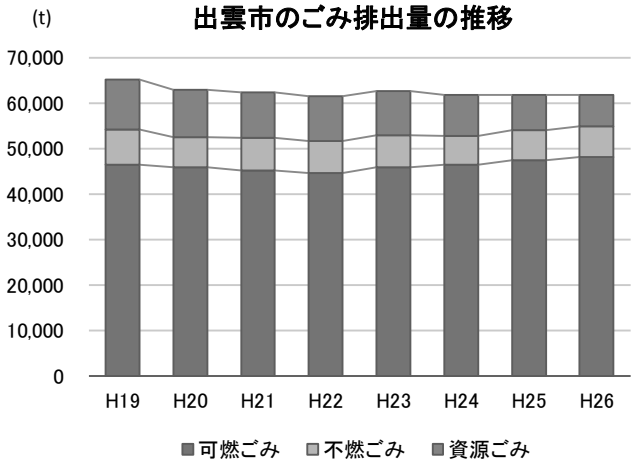
循環型社会の構築を図るためには、ごみの排出抑制・再生利用や適正処理の推進を市民、事業所、行政が連携して取り組まなければなりません。

平成 26 年度の出雲市のごみ排出量（火災・災害ごみを除く）は、61,765t（前年度 61,827 t、前年度比 0.10%減）で、その内訳は可燃ごみが 48,167t（前年度 47,465 t、前年度比 1.48%増）、不燃ごみが 6,704t（前年度 6,665t、前年度比 0.59%増）、資源ごみ 6,894t（前年度 7,697t、対前年度 10.43%減）でした。これは、市民 1 人が 1 日に約 970 g、1 年間で約 354 kgを排出したことになります。

平成 23 年度以降は、可燃ごみの排出量が増加傾向にあり、内訳は約 80%を紙類、生ごみが占めています。

毎日たった 40 g（約バナナの皮半分）減量するだけで、年間 2,548 t を超える削減につながります。

市民一人ひとりが意識的にごみの減量に努めることが非常に重要です。



Ⅲ　出雲市の環境への取組

「第 2 次出雲市環境基本計画」では、目指すべき環境の将来像「神話から未来へつなぐ　さわやかな環境のまち・出雲」の実現に向け、6 つの基本目標を掲げ、様々な施策を推進しています。その施策の推進にあたっては、44 の数値目標を定め、進行管理を行っています。

ここでは､数値目標の達成状況と平成 26 年度に取組んだ主な事業の実施状況について報告します。

【評価の判断基準】

○：中間目標値を達成した。

△：中間目標値は達成できなかったが、前年度値（基準値）より改善した。

×：前年度値（基準値）から状況が悪化した。

1　澄んだ空気ときれいな水に潤い　健康に暮らせるまち

1－1　大気環境の保全

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	大気汚染測定値(SPM)（環境基準 0.10mg/㎥以下）	0.015mg/㎥（H22年度）	環境基準未達成（H23年度）	環境基準達成（H24年度）	環境基準達成（H25年度）	環境基準値内	○	○
2	市公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率	1.5%	1.7%	2.8%	2.8%	10.6%	△	△

⑵　主な取組

①　一畑電車活性化事業［交通政策課］

一畑電車沿線地域対策協議会（島根県、松江市、出雲市）を通じ、利便性の向上を図りました。

- 通勤定期券購入助成（4～12 月）　605 枚
- 通勤定期エコ電定期券購入助成（1～3 月）　189 枚
- シルバー切符助成　6,072 枚

一畑電車

②　公共交通機関利用促進の啓発推進［交通政策課］

公共交通機関利用促進に活用するため、出雲市くらしの便利帳に市内のバス路線マップを掲載しＰＲしました。

③　山陰本線鉄道利用促進事業［交通政策課］

ＪＲの活性化事業等を実施する「島根県鉄道整備連絡調整協議会」を通じ、利用促進を図りました。

- ＪＲダイヤポケット時刻表の作成・配布　15,000 冊

④　ばい煙、粉じん、野外等での不法なごみの焼却の監視、指導［環境政策課］

島根県では、大気汚染防止法及び島根県公害防止条例に基づき、ばい煙・粉じん発生施設への立入調査を実施しています。

出雲市では、ばい煙、粉じん、ごみの野外焼却に関する苦情対応として、発生人へ指導をおこないました。平成 26 年度の大気環境に関する苦情対応件数は 69 件でした。

⑤　佐田総合資源リサイクル施設管理事業［農業振興課］

佐田総合資源リサイクル施設において、畜産農家から回収した糞尿を利用して製造した堆肥を稲作農家やぶどう農家等に販売することにより、耕畜連携、資源循環を図りました。

- 回収農家数　26 戸
- 家畜糞尿の回収量　7,555t

家畜の糞尿を利用して製造した堆肥

⑶　課題と今後の方向性

「2.市公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率」は、前年と同率でした。クリーンエネルギー自動車は高額なうえに、市の業務にはクリーンエネルギー自動車に不向きな業務もあります。

公用車の更新時には、クリーンエネルギー自動車の使用が可能かどうか調査し、可能な場合は導入に努めます。

１－２　水環境の保全

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	類型指定河川水質の環境基準達成率（斐伊川及び神戸川上流：河川AA類型、BOD 1mg/ℓ以下、神戸川下流、平田船川及び湯谷川：河川A類型、BOD 2mg/ℓ以下）	100%	71%	86%	86%	100%	△	△
2	類型未指定河川水質の市基準達成率（BOD市独自基準 5mg/ℓ以下）	100%	100%	100%	100%	100%	○	○
3	湖沼水質の環境基準達成率（宍道湖：湖沼A類型、COD 3mg/ℓ以下、神西湖：湖沼B類型、COD 5mg/ℓ以下）	0%	0%	0%	0%	100%	×	×
4	海域水質（海水浴場）の市基準達成率（COD市独自基準 2mg/ℓ以下）	100%	83%	100%	100%	100%	○	○
5	廃食用油回収量	47,466ℓ	35,077ℓ	33,335ℓ	32,147ℓ	47,500ℓ	×	×
6	汚水処理人口普及率	77.8%	78.1%	83.7%	84.7%	83.8%	△	○
7	水洗化率（接続率）	86.6%	87.9%	88.0%	88.5%	88.0%	○	○

⑵　主な取組

①　公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水、小規模集合排水、合併処理浄化槽などの整備［下水道建設課］

生活排水対策は、水環境の改善、快適な暮らしの実現のため、不可欠な事業です。住環境を改善し、豊かな川や汽水域、豊かな海の再生をめざし、汚水処理施設の整備を図りました。

- 公共下水道整備面積　13ha
- 阿宮地区農業集落排水事業実施中
- 市設置合併処理浄化槽　43 基
- 汚水処理（個人設置合併処理浄化槽）　208 基
- 循環型（個人設置合併処理浄化槽）　2 基

②　水質浄化、排水などに関する啓発活動［下水道管理課］

「広報いずも」9 月号、2 月号に下水道への早期接続、下水道の正しい使用、各制度の案内を掲載し、水質浄化に関する普及啓発を行いました。

また、下水道未接続世帯に対し、文書送付や戸別訪問を行い、早期接続を促進しました。

③　汚濁河川のヘドロ除去［道路河川維持課］

年間を通して、河川、排水路の土砂撤去、藻刈り等を行いました。

④　油の流出などの水質事故の未然防止と発生時の迅速な対応［道路河川維持課、農林基盤課、環境政策課］

河川で機械を使用する際の油類の取扱について注意喚起・指導を行い、水質事故の未然防止を図りました。

交通事故等により自動車から油類が用水路等に流出した際には、油吸着材やオイルフェンス・マット等を使用し、二次被害発生の防止に努めまし

油流出事例における
油吸着処理の様子

た。

- 出動件数　　11 件

⑤　河川の堰や排水機場のごみの適正処理［道路河川維持課、農林基盤課］

堰や排水機場で発生したごみについて、分別し適正処理を行いました。

⑥　水質調査［環境政策課］

市内 33 河川の 43 か所において水質検査を実施しました。平田地域において環境基準を超過した月もありましたが、概ね環境基準値を達成していました。

⑦　生きもの調査［学校教育課］

学校から出かけて身近な自然の動植物調査や、校内で動植物を飼育栽培し、観察をおこないました。渡りをする蝶であるアサギマダラの継続観測やシジミの生態調査など、各学校で地域にあわせた特色のある活動を行いました。

⑧　河川や湖に親しむ体験活動［学校教育課］

学校の近くにある河川や湖に出かけて、動植物の生態調査や水質調査をおこなうなど、学校教育の中でも川や湖に親しむ活動を行いました。

⑨　宍道湖西岸・斐伊川河口バードウォッチング～生物のつながりと環境～［出雲科学館］

宍道湖西岸・斐伊川河口でバードウォッチングを実施し、生物のつながりと環境について学習しました。

⑩　河川や湖の清掃活動の支援［道路河川維持課、環境政策課］

町内会、自治会及び団体がボランティア活動で行う河川の除草、浚渫活動（ふれあい愛護活動）を支援しました。平成 26 年度の支援件数は 156 件でした。

また、市民ボランティアによる斐伊川、宍道湖、神西湖の一斉清掃活動が行われ、集められたごみを回収・処分しました。回収量は約 439t でした。

⑪　水産資源の保護［水産振興課］

「小伊津のアマダイ」として有名なアカアマダイの稚魚の栽培漁業に取組みました。7cm 程度までに成長した稚魚約 4,100 尾を、小伊津近海の水深 40m 付近の海域へ放流しました。

また、漁業協同組合 JF しまね大社支所・平田支所が実施する資源回復事業（アワビ、サザエ、ウニ、バイの種苗放流等）に対し助成しました。

内水面各漁協が実施する放流事業（宍道湖漁協／ウナギ・スジエビ・フナ、神西湖漁協／シジミ・フナ・モクズガニ・テナガエビ、神戸川漁協／アユ）にも助成しました。

⑫　漁場の良好な環境の保全［水産振興課］

宍道湖漁協が湖底環境の改善のために実施する湖底攪拌（湖底攪拌用ナノマイクロバブル発生ノズル整備）への助成や、神西湖漁協が湖底環境の改善のために実施する覆砂へ助成しました。

⑬　保安林事業［森林政策課］

保安林がその機能を維持、発揮できるよう、巡視しました。

⑭　宍道湖一斉清掃［環境政策課］

6 月 8 日、平田・斐川両地域の宍道湖沿岸において一斉清掃を実施しました。

参加者は 2,014 人、回収されたごみの量は 2.98ｔでした。

宍道湖一斉清掃の様子

⑮　宍道湖水環境改善協議会［環境政策課］

国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江市、出雲市の 4 団体で設置する「宍道湖水環境改善協議会」では、宍道湖の一斉清掃のほか、斐伊川水系上下流交流（雲南市・奥出雲町）、ヨシ刈り取り事業（出雲市斐川町坂田）を行いました。

⑯　斐伊川水系水源の森づくり事業［森林政策課］

斐伊川水系の上下流自治体が締結している「森林整備協定」に基づき、上流自治体が実施した造林事業に対し、本市は負担金を支出することにより下流域の水資源の確保や水系水質

の保全を図りました。

- 雲南市　　雪起し・下刈り　17.81ha
- 飯南町　　下刈り　　7.55ha
- 奥出雲町　下刈り　　8.71ha

⑰　斐伊川流域荒廃林等再生整備基金協定事業［森林政策課］

斐伊川流域林業活性化センター及び斐伊川流域の上・下流自治体が締結する「荒廃林等再生整備基金協定」に基づき、各自治体からの負担金を基金として積み立て、上・下流域の荒廃森林における造林事業を実施することで森林再生を図りました。

- 佐田町須佐地内　　下刈り　　2.98ha
- 所原町地内　　地ごしらえ・新植　　2.00ha

⑱　冬の中海・宍道湖体験ツアー［環境政策課］

中海・宍道湖・大山圏域の小学生を対象に、2 月 21 日「冬の中海・宍道湖体験ツアー」を実施しました。中海・宍道湖の豊かな自然を守ることの大切さや生活にどう関わっているのかを学習することで、中海や宍道湖への理解を深めました。

・主催　　中海・宍道湖・大山圏域市長会
（構成市　松江市、出雲市、米子市、安来市、境港市）

・参加者　33 名

⑶　課題と今後の方向性

数値目標のうち、平成 26 年度の「1.類型指定河川水質の環境基準達成率」は、神戸川上流で環境基準値が達成できませんでした。また、「3.湖沼水質の環境基準達成率（宍道湖、神西湖）」において、両湖とも水質改善は見られたものの、環境基準値は達成できませんでした。

県では、平成 26 年度から平成 30 年度を期間とする「宍道湖に係る湖沼水質保全計画（第 6 期）」を策定され、親しみやすい湖沼環境指標として「五感による湖沼環境指標」が新たに取り入れられました。

湖沼等の水質改善には、今後も、広域的に長期かつ継続した取組みが必要です。

１－３　健康に暮らせる環境の保全

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	自動車騒音の環境基準達成率	100%	99.8%	99.3%	100%	100%	×	○
2	航空機騒音の環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	○	○
3	ダイオキシン類の環境基準達成率	100%（H22年度）	100%（H23年度）	100%（H24年度）	100%（H25年度）	100%	○	○

⑵　主な取組

①　騒音、振動の発生源への監視、指導［環境政策課］

市内には、騒音・振動規制法に基づき、騒音・振動を規制する区域が定められています。規制区域内の事業所等から発生する騒音や振動が規制基準を超えている場合は、改善勧告や改善命令を行います。平成 26 年度は改善勧告等の事例はありませんでした。

平成 26 年度において、規制区域以外も含めた騒音・振動に関する苦情対応件数は 11 件でした。

②　航空機騒音の実態把握とその対策［斐川支所地域振興課］

島根県では、出雲空港周辺地域において、昭和 60 年から航空機騒音調査を行っています。平成 25 年度の測定結果は Lden 49～51dB で、環境基準値（Lden 62dB 以下）を満たしていま

した。また、市では平成 26 年度に出雲空港周辺の騒音対策のため次の事業を行いました。

ア　防音工事更新事業（空港周辺の対象家屋の防音工事費を助成）

- 件数　2 件

イ　空調機器更新事業（空港周辺の対象家屋の空調機器の更新経費を助成）

- 件数　88 件

③　夜間花火規制条例による規制［環境政策課］

平成 18 年に制定した出雲市夜間花火規制条例により、公共の場所では夜 10 時以降の花火を禁止しています。

このうち、特に夜間花火の周辺環境への影響が著しいと認められる地域は、夜間花火禁止区域に指定しており、看板、ホームページ等により周知しています。

④　悪臭発生源への監視、指導［環境政策課］

市内には、悪臭防止法に基づき、事業活動に伴って発生する悪臭を規制する区域が定められています。規制区域内において悪臭物質の排出が規制基準を超えている場合は、事業者に対し改善勧告や改善命令を行います。平成 26 年度において改善勧告等の事例はありませんでした。また、規制区域以外も含めた悪臭に関する苦情対応件数は 2 件でした。

⑤　アスベストに関する情報提供及び適正処理の推進［環境政策課、建築住宅課］

島根県では、アスベストの大気中への飛散を防止するため、建築物の解体等工事の監視・指導及び大気中のアスベスト濃度測定を行っています。

市では、ホームページを通じてアスベストに関する情報の提供を行っています。また、建設リサイクル法による建築物の解体工事の届出書を受理しており、アスベスト等の有害物質の除去を伴う旨の記載があった場合は、適切に処理するよう指導しています。

⑥　犬のしつけ方教室［環境政策課］

9 月 23 日、島根県と島根県動物保護管理協会、出雲市の共催で、犬の正しい飼い方・しつけ方の講習会を開催しました。28 組 53 人の参加があり、犬の基本的な訓練、しつけ方の講義及び実習を行いました。

犬のしつけ方教室の様子

⑦　空地などの管理指導［環境政策課］

出雲市環境保全条例により、市民等は住宅周辺の空地について、除草・清掃をおこない、常に清潔な維持管理に努めるよう定められています。

平成 26 年度は 9 件の苦情があり、空地などの所有者に対し適正な管理をするよう指導・助言しました。

２　人と自然がふれあい　ともに生きるまち

２－１　野生動植物との共生

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	ゲンジボタルの生息が確認された地区の割合	49%	49%	49%	70%	51%	△	○

⑵　主な取組

ミコトッキー

①　トキによるまちづくり事業［農業振興課］

トキのキャラクター「ミコトッキー」がトキの保護等について説明する「となりのミコトッキー」を広報いずもに毎月掲載しました。

②　　ウミネコ・モリアオガエル調査［文化財課］

国の天然記念物に「経島のウミネコ繁殖地」として指定されているウミネコ、県のレッドデータブックに準絶滅危惧種として選定されている「モリアオガエル」の産卵状況調査を行いました。

ウミネコ（日御碕経島）について、平成 26 年 3 月から 5 月まで、飛来、産卵、ふ化の調査をそれぞれ行いました。

- ウミネコ「ヒナの数」　　822 羽　（30 年平均　781 羽）
- ウミネコ「未ふ化の卵数」　130 個　（30 年平均　374 個）

6 月には多伎町地内 7 か所の池等で、モリアオガエルの産卵状況（卵塊数）調査を行いました。

- モリアオガエル卵塊数　　464 個　（平均　718 個）

産卵状況（卵塊数）は、産卵のピークが過ぎていたため平均を大幅に下回りましたが、生息環境に大きな変化はありませんでした。

③　自然環境調査研究事業［環境政策課］

平成 26 年度は、斐川地域で水生動植物の生息調査を実施しました。（別記）

④　有害鳥獣被害対策事業［森林政策課］

自然環境や農林作物等に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲や、防護施設の設置に対する支援を行いました。（別記）

- 捕獲頭数　出雲北山山地シカ／642 頭、湖北山地等シカ／1,003 頭、イノシシ 1,480 頭
  ヌートリア／305 頭、タヌキ／362 頭
- 防護施設設置助成　103 件

２－２　豊かな自然とのふれあい

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	市主催の自然体験事業の参加者数	10,462人	10,882人	11,885人	11,808人	10,500人	○	○
2	市有自然体験施設の利用者数	118,655人	112,406人	101,957人	98,228人	124,700人	×	×
3	グリーンツーリズムの受入団体数	6団体	6団体	6団体	9団体	7団体	△	○

⑵　主な取組

①　　自然歩道及び自然公園管理［観光交流推進課］

地域住民の協力のもと、自然公園内のパトロールや草刈り、ごみ拾いなどを行い、景観の

保護及び管理を行いました。

② 開発事業などにおける事業者への助言［環境政策課］

都市計画区域内の 3,000㎡以上または区域外の 10,000㎡以上の開発行為について、開発行為を行おうとする事業者に対し、環境面から意見書を提出しました。

- 件数：14 件

③ 観光施設管理運営事業［観光交流推進課］

既存の自然体験施設（目田森林公園、わかあゆの里、うさぎ森林公園、見晴らしの丘公園、伊秩やすらぎの森及び水辺、八雲風穴）の管理を通して自然にふれあうことのできる空間を提供し、これら施設を広く周知することで自然体験の推進に努めました。

④ 風の子楽習館［市民活動支援課］

- 自然観察会、自然体験イベント等　20 回
- 体験学習（木の実を使った小物作り等）　184 回
- 受講者数計　8,931 人

⑤ 湊原体験学習センター［市民活動支援課］

- 体験学習等　44 回
- 受講者数計　1,231 人

自然体験教室

⑥ 天王山キャンプ場［市民活動支援課］

天王山キャンプ場を周知し、自然体験施設を利用した活動の推進に努めました。

⑦ グリーンツーリズム・エコツーリズムの推進［観光交流推進課・環境政策課］

グリーンツーリズムやエコツーリズムの紹介を市ホームページ等で行いました。

⑶ 課題と今後の方向性

「2.市有自然体験施設の利用者数」が、前年度に比べ減少しました。これは、例年に比べ長雨が続くなど、天候不順だったことが要因の一つと考えられます。

今後とも利用者の増加につながるよう魅力的なイベントの開催等を行う一方で、様々な情報ツールを積極的に活用し市内外に情報発信します。

２－３　森林と農地の保全と再生

⑴ 数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	森林整備面積（累計）	40ha	60ha	92ha	107ha	150ha	△	△
2	間伐等実施面積（累計）	420ha	480ha	631ha	751ha	700ha	△	○
3	市産材取扱量	2,700㎥	3,000㎥	16,400㎥	16,500㎥	3,600㎥	○	○
4	新規林業就業者数（累計）	1人	5人	6人	6人	10人	△	△
5	アグリビジネススクール卒業者数（累計）	251人	285人	314人	345人	491人	△	△
6	学校給食における地場産品の利用割合	35%	35.4%	35.9%	38.8%	40%	△	△

⑵ 主な取組

重点プロジェクト１）森林を守り育てる取組

① 森林整備地域活動支援交付金事業［森林政策課］

林業事業体等が行う、森林経営計画作成のための森林情報の収集や森林調査等の活動経費に対して支援しました。

- 対象者　1 事業体
- 対象面積　1898.08ha

② 造林事業［森林政策課］

市有林及び市行造林において、植栽木の健全な生長を促進するために、間伐、除伐及び枝打ちを実施しました。また、森林資源の利活用を目的として、間伐材の搬出を行いました。

- 間伐（搬出）　　1団地、　5.27ha
- 間伐（搬出以外）　14団地、45.77ha
- 除伐　　5団地、14.11ha

③　21世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド事業［森林政策課］

ア　市産材利用の推進

市産材利用の推進を図るため、下記について助成しました。

間伐された森林

（ア）市産材の出荷促進のため、出雲木材市場への原木出荷に係る手数料の一部を助成しました。

- 補助金額　　出売手数料助成として　税込売上の2%
  整理料助成として　　630円／m^3
- 市産材出荷量　469.338m^3

（イ）市産材利用促進のため、構造材に市産材を使用した新築住宅に対し、県産材使用補助金（島根県木材協会）に協調して上乗せ助成しました。

- 補助金額　　市産材使用材積　2万円／m^3（上限20万円）
- 助成件数　　15件
- 市産材使用量　165.2m^3

イ　森林整備、森林保全活動の促進

森林整備、森林保全活動に対する財政的・技術的支援を図るため、国や県の補助事業対象外の間伐・枝打ち等の造林事業に対して事業費の助成を行いました。

（ア）保育（下刈り、枝打ち、除伐、間伐）に対する助成

- 補助率　　2/3以内
- 助成件数　11件
- 実施面積　6.57ha

（イ）　針葉樹や広葉樹の植樹事業の推進

国や県の補助事業対象外の新植に対して、針葉樹や広葉樹の植樹事業の推進として、事業費の助成を行いました。

- 補助率　　2/3以内
- 助成件数　2件
- 実施面積　0.4ha

④　山林の多面的機能回復の推進［森林政策課］

生活様式の変化により薪炭用材の伐採や落ち葉の採取がほとんどされなくなり、山林と住民との関係が希薄になったことで侵入竹などによる山林の荒廃が進んでいます。

地域住民が協力して里山の保全や資源の利用に取り組む活動を支援しました。

- 事業名　　森林・山村多面的機能発揮対策
- 活動団体数　15団体
- 活動面積　　123ha
- 活動内容　　侵入竹の除去、雑草木の刈払、炭焼き体験、しいたけ原木の伐採等

⑤　出雲市みどりの担い手育成事業［森林政策課］

林業後継者対策として、森林整備法人又は森林組合法に基づく法人が採用した作業員の健康保険、厚生年金及び中小企業退職金共済の事業主負担分を補助しました。

- 補助対象者数　7名

【その他の取組】

⑥　緑の募金活動［森林政策課］

国民全体で森林を守り育てる運動の一環として、町内会を通じて緑の募金活動（家庭募金）を行いました。緑の募金は、主に地域の緑化活動支援のために活用されています。

- 募金活動主催　公益社団法人島根県緑化推進委員会（出雲市は正会員）
- 募金時期　　5 月～7 月
- 募金額　　7,273,564 円（うち家庭募金　 6,930,044 円）

⑦　緑の募金公募事業［森林政策課］

緑の募金を資金とした「緑の募金公募事業」（公益社団法人島根県緑化推進委員会）を活用し、地域住民による森林整備活動等への支援を行いました。

- 助成金額　　上限 50 万円
- 採択事業数　市内団体 11 件
- 事業内容　　松枯れ跡地への植樹、雑木林の整備、広場や公園への植樹、間伐体験等

⑧　松くい虫被害対策事業［森林政策課］

松くい虫防除計画区域内の健全なマツに対して防除薬剤の樹幹注入を行うとともに、被害木について伐倒駆除等を行いました。

- 樹幹注入　　5,112 本
- 特別伐倒駆除　　230 本
- 伐倒駆除（くん蒸）　722 本

森林整備の様子

⑨　ナラ枯れ被害対策事業［森林政策課］

市内のナラ枯れ被害木に対し、伐倒駆除等を行いました。

- 伐倒駆除（くん蒸）　　36 本

⑩　人・農地プラン推進事業［農業振興課］

「人・農地プラン」を策定し、認定農業者や集落営農組織を「地域の中心となる経営体」として位置付け、農地集積計画を立てて農地集積を図りました。

⑪　環境保全型農業直接支払交付金［農業振興課］

化学肥料、農薬を 5 割以上低減する取組とセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農家に対し、当該取組の実施に伴う追加的コストを支援しました。

- 取組面積　187ha

⑫　集落営農［農業振興課］

集落営農組織の新規設立や法人化を支援し、これら組織による農地の保全、用排水路等の整備を通じて、水環境の保全を図りました。

- 集落営農組織新規設立　3 団体
- 集落営農組織の法人化　10 団体

⑬　耕作放棄地再生事業［農業振興課］

荒廃した耕作放棄地を引き受けて作物生産をする方に対して、再生作業、土づくり・播種・施設整備等の取組を総合的に支援し、農地保全を図りました。

耕作放棄地の発生防止、再生に向けた取組を進めた結果、9 圃場、計 1.97ha の耕作放棄地を再生することができました。

⑭　アグリビジネススクール事業［農業振興課］

ぶどうチャレンジ講座、柿チャレンジ講座、いちじくチャレンジ講座、野菜チャレンジ講座の 4 講座を開講し、33 人受講、31 人が講座を修了し、うち 4 人が新規就農しました。

- 講座開設期間：平成 25 年 12 月～平成 26 年 11 月

⑮　地産地消促進による学校給食への地場産品の提供［学校給食課］

市内の学校給食センターでは、毎月 1 回「おいしい出雲の一日」を設定し、ふんだんに地元

産の食材を使用した給食を提供しました。また、6 月の食育月間にあわせて「いずも給食 Week」を設けたほか、11 月の「しまねふるさと給食月間」の期間中、特に地産地消の推進に取組みました。

学校給食における地場産品の使用割合は 38.8%でした。（平成 26 年度島根県食材仕入れ等状況調査より）

⑯ 有害鳥獣被害対策事業［森林政策課］

（別記）

⑰ 中山間地域等直接支払事業［農業振興課］

高齢化により耕作放棄地の増加が懸念されている中山間地域等において、農業生産の維持を図りながら多面的機能を確保するため、農業者等による協定を締結し、農業生産活動を継続しておこなう集落等を支援しました。

- 平成 26 年度末現在の集落協定数　78 集落

⑱ 県営中山間地域総合整備事業［農林基盤課］

佐田地区において、県営事業を活用し、農業用排水路、暗渠排水、ほ場等の整備を推進しました。

⑲ ふるさとの森再生事業［森林政策課］

松くい虫被害によって全山が松枯れしていた神西地区の市有林で、しまね森林活動サポートセンター（島根 CO_2 吸収認証制度）からの助成を受けて、枯れ松の伐採と、広葉樹の植栽等を行いました。

- 森林整備面積　18ha（うち植栽面積 9ha）

⑳ みんなでつくる出雲の森事業［森林政策課］

間伐等による森林の適正な管理と、間伐材のチップ燃料としての利用促進を目的として、市民参加により林地残材を搬出するための補助事業を行いました。

- 補助金額　1 トンあたり 3,000 円
- 出荷量　　1,694.79 トン（H26 年 4 月～平成 27 年 3 月実績）

⑶ 課題と今後の方向性

「1.森林整備面積」「4.新規林業就業者数」の平成 26 年度実績は、基準年度より増加しているものの、今後、木材価格の低迷や林業収入の低下等により減少することが危惧されています。

一方「2.間伐等実施面積（累計）」や「3.市産材取扱量」は中間目標値を上回る結果となりました。

今後とも、林業の後継者対策や、森林の経営・管理を集約して行う木材生産団地化の促進、集約化施業に必要な作業道の整備、高性能機械の導入などの条件整備を図る必要があります。

また、市産材を建築用からバイオマスまで利活用するなど、各分野での積極的な取組みが必要と考えます。

3　悠久の歴史が息づく　美観と快適空間のまち

3－1　景観保全と緑地の確保

⑴ 数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	一人当たりの公園面積	16.7㎡	16.8㎡	16.8㎡	16.9㎡	16.8㎡	○	○

⑵　主な取組

①　街なみ環境整備事業［まちづくり推進課］

歴史的趣のある質の高い街なみ景観を創出するため、出雲大社周辺地区において、道路景観整備を実施しました。

また、同地区において市民等の憩いの場、あるいは緑豊かな潤いのある空間を提供するため公園整備を実施しました。

- 市道山根 22 号線・25 号線道路美装化・無電柱化　400m
- 市道真名井矢野線道路美装化　400m
- 真名井広場整備　315 ㎡

②　大規模な建築物などに対する景観指導［建築住宅課］

適切な景観づくりを推進するため、出雲市内で一定規模以上の建築工事等を実施する場合や景観形成地域内における建築工事等の行為について、事前届出により、外観や緑化等に関して指導、助言しました。

- 大規模行為届出　156 件
- 景観形成地域の届出　21 件
- 国の機関等の通知　17 件

③　建築物に対する修景助成［建築住宅課］

良好な都市景観及び調和の取れた街なみの形成を促進するため、指定した地域において修景助成を行いました。

- 大社神門通り地区　7 件、出雲大社周辺地区　1 件

修景助成によって
整備された建築物

④　屋外広告物の規制・指導［建築住宅課］

島根県屋外広告物条例に基づき、許可委任事務を行いました。

- 新規　208 件、更新分　790 件

⑤　街路事業［まちづくり推進課・都市計画課］

緑豊かで潤いのある道路、快適で良好な街なみ景観を形成するため、街路整備と親水公園を整備しました。

⑥　築地松景観保全の支援［建築住宅課］

築地松景観保全のため、築地松景観保全対策推進協議会（島根県、出雲市）において、築地松の維持管理に要する経費を助成しました。

- 剪定　143 件　伐倒・補植 85 件　地上散布　136 件　樹幹注入　58 件

⑦　築地松景観ライトアップの実施、築地松みどころマップ等の作成やフォトコンテスト写真展の開催による啓発活動の推進［建築住宅課］

築地松景観ライトアップを 11 月 23 日・24 日に灘分町で実施

築地松コミュニケーションを作成・配付（1 回／年）

築地松みどころマップ及び築地松ＰＲパンフレットを作成・配付

フォトコンテスト写真展を３月に市役所本庁ギャラリーコーナーで開催

⑧　学校や幼稚園等での花壇づくり［学校教育課］

各学校で野菜や花の栽培を積極的に行い、プランターで花を育てて地域の施設にプレゼントしたり、育てた野菜を調理して地域の方々と一緒に食事をしたりする学校があるほか、グリーンカーテンを栽培する学校もありました。

⑨　街路樹及び緑地帯等管理［都市計画課］

街路樹等について、剪定、施肥等の維持管理を行いました。

⑩　老朽化した公園施設のリフレッシュ整備事業の推進［都市計画課］

老朽化した公園施設及び遊具の改修を行いました。

- 手引ヶ丘、薮崎、若葉、みどり児童、神守、上直江新川、八頭、斐川船川の各公園遊具

改修工事

- 愛宕山公園トイレ建築、機械設備工事

３－２　環境美化の推進

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	市主催の環境啓発イベント(ポイ捨て一掃大作戦、不法投棄パトロールなど)の参加者数	9,618人	11,331人	12,367人	13,036人	13,000人	△	○
2	海岸等一斉清掃参加者数	10,013人	10,553人	7,971人	8,876人	11,000人	×	△
3	美化サポートクラブ登録団体数	29団体	34団体	35団体	32団体	40団体	△	△

⑵　主な取組

①　ポイ捨て・不法投棄対策の推進［環境政策課］

ごみのポイ捨て、犬のふん放置、不法投棄を防止する啓発看板を作成し、設置を希望する市民に配付しました。

出雲市ポイ捨て禁止推進協議会では､11 月 6 日に大社地域内で｢不法投棄防止パトロール｣を実施し、不法投棄の実態を把握するとともに、警察等関係機関を交え、対策について意見交換しました。

②　ポイ捨て禁止キャンペーン［環境政策課］

出雲市ポイ捨て禁止推進協議会では、ポイ捨て禁止とマナーの向上を呼びかけるため、「ポイ捨て禁止キャンペーン」を実施しました。

協議会委員のほか、出雲市環境保全連合会会員も参加して行いました。

- 6 月 27 日／大社町神門通り　　29 名参加
- 8 月 23 日／出雲縁結び空港　　30 名参加
- 10 月 11 日／夢フェスタ in いずも会場　　29 名参加
- 2 月 10 日／道の駅　キララ多伎　　23 名参加

キャンペーンの様子

③　「市民一斉クリーンデー」や「ポイ捨て一掃大作戦」の実施［環境政策課］

出雲市ポイ捨て禁止推進協議会では、6 月第 1 日曜日を「市民一斉クリーンデー」として設定し、10 月を「出雲市ポイ捨て禁止月間」としています。「市民一斉クリーンデー」や「出雲市 18 万人ポイ捨て一掃大作戦」への参加を、広報いずもを通じて広く市民に広く呼びかけました。

④　路上喫煙対策［環境政策課］

ポイ捨て禁止キャンペーンやイベントにおいて、携帯用灰皿の配布を行い、たばこの吸い殻をポイ捨てしないよう呼びかけました。

⑤　美化サポートクラブ［環境政策課］

美化活動の実施、啓発活動に関してボランティアとして協力する市民団体や事業所を募集し、「美化サポートクラブ」として認定しました。認定団体に対しては、傷害保険への加入等の支援を行いました。

- 認定数　32 団体（987 名）

⑥　「ポイ禁だより」の発行［環境政策課］

広報いずもに「ポイ禁だより」を掲載し、ポイ捨て禁止キャンペーンや不法投棄防止パトロールの状況を紹介するとともに、ポイ捨て、不法投棄の防止を呼びかけました。

⑶　課題と今後の方向性

「1.海岸等一斉清掃参加者数」は、中間目標値を達成しませんでしたが、前年度より増加しました。一斉清掃は環境意識の高揚に効果的であり、広報活動等によって、1人でも多くの人に参加を呼びかけます。

「3.美化サポートクラブ登録団体数」は、前年度より減少し、中間目標値を達成しませんでした。今後、美化サポートクラブには未登録ながら、自主的に美化活動等をおこなっている企業や団体に情報提供するなど、登録に向けた加入促進を積極的に行います。

４　地球を考え　地域から実践するまち

４－１　地球温暖化防止の取組

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	市の事務及び事業から発生するCO_2排出量	8,616t-CO_2（H22年度）	8,858t-CO_2	7,908t-CO_2	7,763t-CO_2	7,997t-CO_2	○	○
2	市有施設（事務部門）の電気使用量	10,935,200kWh（H22年度）	10,839,907kWh	10,348,200kWh	10,071,713kWh	10,115,983kWh	△	○
3	市公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率【再掲】	1.5%	1.7%	2.8%	2.8%	10.6%	△	△
4	LED防犯灯の設置基数	401基	566基	810基	1,346基	1,888基	△	△
5	エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数	884世帯	894世帯	898世帯	902世帯	1,000世帯	△	△
6	学校版エコライフチャレンジしまね参加小中学校割合	100%	100%	100%	100%	100%	○	○
7	ISO14001、エコアクション21認証取得事業所数	34事業所	33事業所	49事業所	47事業所	40事業所	○	○
8	再生可能エネルギー導入市有施設数	9施設	10施設	12施設	12施設	14施設	△	△
9	再生可能エネルギー普及啓発事業への参加者数	0人	51人	160人	167人	100人	○	○

⑵　主な取組

重点プロジェクト２）温室効果ガス抑制への取組

①　電気自動車急速充電スタンドの整備［環境政策課］

環境に優しい電気自動車の普及を促進するため、道の駅湯の川に急速充電スタンドを整備し、運用を開始しました。市が設置する急速充電スタンドは、道の駅大社ご縁広場・道の駅キララ多伎とあわせ３基となりました。

②　市の事務及び事業から発生する CO_2 排出量、電気使用量の削減［環境政策課、管財契約課］

「出雲市役所本庁舎省エネルギー行動計画」に基づき、本庁舎の各種空調設備の運転開始時間をずらし、使用最大電力のピーク時間帯を分散するとともに、空調の温度設定範囲を制限することにより、電力消費量を抑えました。

そのほか、執務室や会議室等の蛍光灯を間引くことにより、電力消費量を抑えました。

③　防犯灯の LED 化［交通政策課］

市設置防犯灯について、新設防犯灯 79 灯すべてを LED 防犯灯で設置するとともに、従来の蛍光灯タイプの防犯灯 219 灯を LED 防犯灯へ更新しました。

町内会等設置防犯灯については、LED 防犯灯 249 灯に対して補助しました。

【その他の取組】

④　エコドライブ講習会［環境政策課］

実践的なエコドライブの習得を目的として、11 月 13 日、出雲高等自動車教習所にて「エコドライブ講習会」を開催しました。

- 受講者数　17 名

⑤　エコドライブ街頭啓発［環境政策課］

11 月のエコドライブ推進月間のキックオフイベントとして、11 月 1 日～2 日、出雲産業フェア会場（出雲ドーム）にてエコドライブステッカーやパンフレットを配布し、約 500 名の来店者にエコドライブを呼び掛けました。

⑥　グリーンカーテンの推進［環境政策課］

身近にできる地球温暖化対策の一つとして、家庭や事業所等でのグリーンカーテンの設置を促すため、グリーンカーテン用のゴーヤ苗を 1,000 ポット配付しました。

- 配付先　公共施設・教育施設 45 件

公共施設のグリーンカーテン

⑦　針葉樹、広葉樹の植樹事業の推進［森林政策課］

「21 世紀出雲林業フロンティア･ファイティング･ファンド事業」により、国や県の補助事業対象外の植樹事業に対して助成しました。

- 補助率　　2/3 以内
- 助成件数　 2 件
- 実施面積　 0.4ha

⑧　学校版エコライフチャレンジしまねの参加促進［学校教育課］

市内の市立小・中学校は、平成 22 年度からすべての学校で「学校版エコライフチャレンジしまね」に参加しており、これにより交付される島根県環境教育推進事業補助金を活用して環境学習のための教材を購入や、野菜や花の苗、種を植栽するなど、児童生徒の環境意識の高揚を図りました。

⑨　家庭の省エネ講座［環境政策課、市民活動支援課］

一般家庭での省エネ推進をめざし、6 月 20 日、斐川環境学習センターで環境省環境カウンセラー等を講師に迎え、「家庭の省エネ講座」を開催しました。

- 受講者数　18 名

⑩　出前！省エネ・３Ｒ講座［環境政策課］

家庭や地域等において省エネ・３Ｒ活動を積極的に取り組むため、出雲市環境保全連合会各支部と連携して「出前！省エネ・３Ｒ講座」を計 4 回開催しました。

- 参加者数　計 151 名

⑪　出雲産業フェアへの出展［環境政策課］

11 月 1 日～2 日、出雲ドームで開催された「出雲産業フェア」に出展し、マイ竹箸・マイバッグ・マイ風呂敷作りの体験講座や、省エネ・３Ｒをテーマとした展示を行いました。

- 参加者数　約 250 名

⑫　ライトダウンキャンペーン街頭啓発［環境政策課］

6 月 20 日、ゆめタウン出雲にてライトアップ施設や家庭の照明の消灯を呼びかける「CO_2削減／ライトダウンキャンペーン」の街頭啓発を実施し、来店者に夏の省エネとライトダウンへの協力を呼びかけました。

重点プロジェクト３）再生可能エネルギーの普及と利用促進

①　市有施設における再生可能エネルギー設備の導入［産業振興課、観光交流推進課］

平成 25 年度に設置した佐田町ゆかり館の木質チップボイラー（出力 160kW）に使用する燃料チップを市内業者から購入し、循環型社会への貢献を図りました。

- 平成 26 年度実績

  チップ使用量　約 569 t

  灯油使用量　約 9 割の削減効果（平成 24 年度比）

② 再生可能エネルギー普及啓発事業［産業振興課、市民活動支援課］

新エネルギーに対する理解促進を図るため、市内にある新エネルギー関連施設の見学会や小学生を対象としたエネルギー学習講座などを開催しました。

ア 新エネルギー関連施設見学会

ⅰ）大人の新エネバスツアー2014～日本一の風力発電所と新メガソーラーを巡る～

・日時：6 月 7 日(土)13:30～17:00
・見学先：新出雲ウィンドファーム、しまねＳＯＬＡＲＰＯＷＥＲ出雲河下港発電所
・参加者数：22 名

ⅱ）大人の新エネバスツアー2014～佐田の木の恵み～

・日時：11 月 8 日（土）
・見学地：須佐チップ工業（有）、一縁荘、ゆかり館（チップボイラー）
・参加者数 28 名

イ エネルギー学習講座

夏休み 太陽エネルギー講座～暑い夏休み 光エネルギーを集めよう！～

・日時：8 月 24 日（日）13:30～15:30
・講座内容：太陽の観察や、光を電気に換える装置の作製を通して、太陽光発電について学ぶ。
・場所：出雲科学館
・参加者：27 名（小学生 16 名、保護者 11 名）

ウ 再生可能エネルギー講演会

ⅰ）どうなる！日本のエネルギーと地域づくり（時事通信社と共催）

・日時 9 月 27 日（土）14:00～15:30
・講師 東京工業大学ソリューション研究機構 特任教授 金谷 年展氏
・講演内容 日本各地の新エネルギー導入の取組、自然エネルギーの取組等についてわかりやすく解説。
・場所 くにびき大ホール
・参加者 約 50 名

③ 広報いずもへの記事連載（『再生可能エネルギー』について考えてみよう！）［産業振興課］

再生可能エネルギーに係る市の取組等を次のとおり掲載しました。

・7/18 号 木質バイオマス資源利活用推進の取組「出雲の木であったか温泉」

④ 市内の小中学校を対象とした、再生可能エネルギーについて理解を深める「再生可能エネルギー教室」の開催 ［島根県地域政策課、学校教育課、産業振興課］

再生可能エネルギー全般についての学習及び再生可能エネルギーに関する実験を含めたワークショップを行いました。

・実施校：多伎中学校（3 年生 28 名）11 月 11 日（火）14:00～15:50
　　佐香小学校（5、6 年生 12 名）12 月 2 日（火）14:00～15:50
・講師：東和環境科学株式会社 山陰営業所 理事 鷹村 憲司氏（県が委託）

【その他の取組】

⑤ 神話の國出雲さんさん倶楽部の取組（Ｊ－クレジット制度）［産業振興課］

住宅用太陽光発電システムを設置した市民の一部に入会していただき、発電した電気に付随する環境価値をとりまとめてクレジット化し、大企業等に売却するための取組を行いました。

- 平成 26 年度末会員数：588 名
- 平成 26 年度クレジット認定量：248 トン（平成 25 年度の発電に伴うもの）

⑶　課題と今後の方向性

重点プロジェクト「２）温室効果ガス抑制への取組」において、「3.市公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率」「4.LED 防犯灯の設置基数」「5.エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数」「8.再生可能エネルギー導入市有施設数」は、いずれも基準年度を上回ったものの、中間目標値を達成することはできませんでした。

地球温暖化防止に資する具体的な省エネ行動の拡大と定着が課題となっています。市民、事業者への啓発をさらに充実し、省エネルギーの意識と行動の定着化に努める必要があります。

次に、重点プロジェクト「３）再生可能エネルギーの普及と利用促進」は、地域における効率的なエネルギー利用の推進が課題となっています。太陽光、木質バイオマス、風力といった出雲市の豊かな自然を生かした再生可能エネルギーの導入と利用促進に努めていきます。

さらに、中小水力発電事業や公共温浴施設温泉熱利用等、その設備費用の低減や技術開発などの動向を注視しつつ、導入に向けた検討を行います。

４－２　地球規模での環境問題への取組

⑴　主な取組

①　フロン対策［環境政策課］

出雲市のホームページ等に家電リサイクル法などの詳細を掲載し、周知しました。

②　海岸漂着ごみ回収事業［環境政策課］

市民ボランティアによる海岸清掃活動の啓発を行う一方で、集められた海岸漂着ごみの回収を行いました。

③　海岸漂着ごみの処理等について［環境政策課］

海岸管理者である国、県に働きかけ実施しました。

海岸に漂着した
流木やごみ

５　「もったいない」の心で築く　循環型のまち

５－１　廃棄物対策と資源循環の推進

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	ごみ排出量	62,632t	61,764t	61,827t	61,765t	60,117t	△	△
2	ごみ再資源化量	12,239t	11,468t	10,439t	9,735t	13,543t	×	×
3	ごみ最終処分量	9,104t	8,141t	8,370t	8,299t	8,539t	○	○
4	廃食用油回収量【再掲】	47,466ℓ	35,077ℓ	33,335ℓ	32,147ℓ	47,500ℓ	×	×
5	リサイクル団体回収補助登録団体数	90団体	99団体	97団体	93団体	100団体	△	△

※ごみ排出量、ごみ再資源化量、ごみ最終処分量は、火災・災害ごみを除く

⑵　主な取組

重点プロジェクト４）ごみ減量と再資源化の推進

① ガーデンシュレッダー貸出事業［環境政策課］

家庭で利用できる剪定枝木粉砕機（5 台所有）を市民へ貸し出し、チップ化した剪定枝を堆肥や土壌改良材として利用してもらうことで、ごみの減量化を図りました。

平成 26 年度は、69 回の貸し出しをおこない、利用者から申告された破砕量は 4,411 kgでした。

剪定枝木粉砕機

② リサイクル団体回収補助事業［環境政策課］

資源ごみのリユース、リサイクル促進を目的として、資源物（古紙・空き缶・リターナブルびん）を回収する団体に対して、補助金を交付しました。

平成26年度は93団体を補助対象団体として登録し、市から交付した補助金の合計額は、4,206千円でした。また、回収された資源物の量は古紙1,203t、空き缶111t、リターナブルびん20,781本でした。

③ 出雲市ごみ減量化アドバイザー派遣事業［環境政策課］

ぼかしによる生ごみ堆肥化や廃品のリユース方法等について周知するため、自治会等が行う研修会へ出雲市ごみ減量化アドバイザーを派遣しました。

- 講師登録　12 名
- 派遣回数　59 回

④ 出雲ごみダイエット通信発行事業［環境政策課］

2 か月に 1 回発行（第 11 号～17 号）し、市と出雲エコなびのホームページに掲載して、ごみ減量化の啓発を行いました。

⑤ レジ袋無料配布中止事業［環境政策課］

レジ袋の無料配布中止やマイバック持参運動を通じ、ごみの減量化を推進しました。

- 協力事業者数　10 事業者
- 協力店舗数　　28 店舗
- マイバック持参率　85.6%

【その他の取組】

⑥　ごみ減量化研修事業［環境政策課］

コミュニティセンターや出雲市環境保全連合会支部が主催するごみ減量に係る研修会に市職員を講師として派遣するとともに、廃棄物処理施設等の見学会を実施しました。

⑦　スーパー等の店頭回収の推進［環境政策課］

市のホームページにて、スーパー等がおこなう店頭回収の取組を紹介し、市民への周知を図りました。

⑧　リサイクルステーション設置事業［環境政策課］

出雲地域 25 か所（コミュニティセンター等）、平田地域（ごみ集積場と共用）、佐田地域 135 か所（集会所等）、多伎地域 30 か所（会館等）、湖陵地域 21 か所（会館等）、大社地域 72 か所（コミュニティセンター等）、斐川地域 8 か所（コミュニティセンター等）のリサイクルステーションを開設し、資源物（古紙や古布）を回収しました。

⑨　リサイクルショップの紹介、周知［環境政策課］

市内にあるリサイクルショップの所在地・連絡先等を市のホームページ等で紹介し、リユース、リサイクルを呼びかけました。

⑩　いずも古着市開催事業［環境政策課］

11 月 22 日～23 日、出雲市役所くにびき大ホールで、いずも古着市実行委員会主催による「いずも古着市」を開催しました。当日の来場者は約 1,300 人、持ち込まれた古着は約 11,000 枚、販売数は約 3,400 枚でした。

また、10 月 4 日に、古着の回収を平田、佐田、多伎、湖陵、大社地域で実施しました。

⑪　ごみの分別徹底の広報［環境政策課］

「目指せ！可燃ごみ減量化！」と題して、「広報いずも」10 月号に記事を載せ、雑紙のリサイクルについて広報しました。

また、家庭ごみの正しい分別方法を学ぶことができる映像「分けて減らそう家庭からのごみ」を作成しました。この映像は DVD で貸し出すとともに YouTube で公開しています。

⑫　廃棄物の不適正処理対策［環境政策課］

不法投棄防止のため、看板や監視カメラを設置するとともに、出雲市ポイ捨て禁止推進協議会と協力して不法投棄パトロールを行いました。

野外でのごみの焼却については、出雲保健所等と連携し適正処理の指導を実施しました。

⑬　次期可燃ごみ処理施設の整備に向けた予備調査・検討［環境施設課］

平成 26 年度には、先進地調査をおこない、施設整備スケジュール及び用地選定・施設整備手法等の検討や、情報収集を行いました。

⑶　課題と今後の方向性

重点プロジェクト「４）ごみ減量と再資源化の推進」において数値目標として掲げた「1.ごみ排出量」は、平成 23 年度（基準年度）より減少したものの、中間目標値は達成できませんでしたが、「3.ごみ最終処分量」は中間目標値を達成しました。

次に、「2.ごみ再資源化量」「4.廃食用油回収量」は、平成 23 年度（基準年度）以降減少してきています。ごみ再資源化量の減少については、民間による資源物回収の活発化が考えられ、廃食用油回収量の減少については、スーパー等で惣菜等を購入する家庭が増えてきたことや、食生活の改善も要因のひとつではないかと思われます。

可燃ごみや不燃ごみとして排出されたごみの中には、空き缶や新聞などリサイクルできる資源ごみが未だに混入しており、排出者には分別をより一層徹底するよう、啓発活動を充実させていきます。

また、可燃ごみの中に、水切りが不十分な生ごみや賞味期限切れ等の「手つかず食品類」が相当量含まれているため、その減量が課題となっています。

ごみの減量化については、今後ともきめ細かで分かりやすい情報提供に努めることに加え、民間団体を活用した指導・助言についても積極的に行っていきます。

５－２　環境と経済の好循環の推進

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	「しまねエコショップ」登録店舗数	32店舗	26店舗	29店舗	24店舗	36店舗	×	×
2	「しまねグリーン製品」登録製品数	44製品	46製品	35製品	44製品	48製品	×	△

⑵　主な取組

①　環境にやさしい製品の普及と利用促進［環境政策課］

県では、ごみの減量化・資源化及び再生利用に努めている店舗を「しまねエコショップ」として認定し、PR しています。また、島根発の優れたリサイクル製品を「しまねグリーン製品」に認定し、資源の循環的な利用の促進とリサイクル産業の育成を図っています。市では、これらの店舗と製品の普及・利用を図るために情報提供しました。

②　グリーン購入の推進［環境政策課］

市役所では、職員の地球温暖化対策率先行動計画である「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅢ」の中で、グリーン購入の促進を掲げ、すべての機関で取組んでいます。

⑶　課題と今後の方向性

「1. しまねエコショップ登録店舗数」及び「2. しまねグリーン製品登録製品数」は、いずれも中間目標値を達成することができませんでした。これは、制度に関する情報不足が要因の一つではないかと考えます。

今後も市内の「エコショップ認定店」や「しまねグリーン製品」の情報発信に加えて、産業フェア等のイベント開催時に広く情報提供します。また、市民等には、「環境に配慮している物を優先的に購入し使用することが、間接的に環境保全に貢献できる。」という使用意義の浸透を図ります。

６　ともに学び行動する　環境意識が高いまち

６－１　環境学習・環境保全活動の推進

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	斐川環境学習センターの利用者数	3,841人	4,934人	4,117人	3,699人	4,000人	○	×
2	ごみ減量化アドバイザーの派遣回数	83回	115回	56回	59回	100回	×	△
3	こどもエコクラブ登録団体数	19団体	14団体	11団体	12団体	25団体	×	△
4	市主催の環境啓発イベント（ポイ捨て一掃大作戦、不法投棄パトロールなど）の参加者数【再掲】	9,618人	11,331人	12,367人	13,036人	13,000人	△	○
5	ISO14001、エコアクション21認証取得事業所数【再掲】	34事業所	33事業所	49事業所	47事業所	40事業所	○	○
6	エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数【再掲】	884世帯	894世帯	898世帯	902世帯	1,000世帯	△	△
7	学校版エコライフチャレンジしまね参加小中学校割合【再掲】	100%	100%	100%	100%	100%	○	○

⑵　主な取組

①　　斐川環境学習センター［環境政策課］

斐川環境学習センター（愛称：アース館）は、地域環境や地球環境を守り、次世代に引き継いでいくための学習・活動の拠点施設です。一年を通して各種環境教室を企画・開催し、環境保全への意識啓発を行っています。

柿渋作りの様子

- 来館者数　3,699 人
- 講座内容　廃油石鹸作り、柿渋作り、筍掘り体験、蛍の観察会、野の花教室、エコペーパークラフトなど
- 開催回数　191 回
- 受講者数　延べ 1,192 人

②　　不用品がビックリ大変身～夏休み　親子で楽しむエコチャレンジ講座～［環境政策課］

7 月 26 日と 8 月 2 日の 2 日間で 26 名が参加しました。

・出雲エネルギーセンターにおいて、米袋を使ったエコバック作りと、施設見学

・出雲環境センターにおいて、空きビンにトールペインティングと施設見学

③　学校教育での環境教育の推進［学校教育課］

出雲エネルギーセンターなどの廃棄物処理施設を見学してごみ問題について考えたり、動植物の観察や飼育栽培、身近な河川の水質調査を通じて環境の大切さを学んだりしました。また、各学校では、地域の清掃活動や海岸清掃などのボランティア活動に参加しました。

④　こどもエコクラブ［環境政策課］

財団法人日本環境協会がサポートする「こどもエコクラブ」に登録した団体の環境学習に対し、年間 3 万円を上限に補助金を交付しました。平成 26 年度は、登録 12 団体のうち申請のあった 7 団体の活動助成を行いました。また、広報いずもや市ホームページ等を通じて、こどもエコクラブへの加入を情報発信しました。

⑤　出雲市環境保全連合会［環境政策課］

出雲市環境保全連合会は、コミュニティセンター単位に 43 支部が組織されています。

支部では、定期的に道路や公園等の美化活動のほか、不法投棄等の巡回パトロール、環境フェアや文化祭等での環境啓発活動など、各地区の状況に応じて様々な活動に取組んでいます。

ごみ拾いのボランティア活動

⑶　課題と今後の方向性

「1.斐川環境学習センターの利用者数」は、前年度より減少し、中間目標値を達成しませんでした。指定管理者においては、今後も、魅力ある環境学習や講座を企画し、ホームページや広報を通じ、積極的に市民等に情報発信します。一方、市においては指定管理者に適切にアドバイスするなど、利用者増加に向け連携した取組みを実施します。

また、「2.ごみ減量化アドバイザーの派遣回数」「3.こどもエコクラブ登録団体数」「6.エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数」は、いずれも前年度実績値より増加したものの、中間目標値を達成しませんでした。中間目標値の達成にむけて、小中学校、幼稚園及び環境保全連合会等との連携を図りながら、今後も積極的に各種情報を提供していきます。

６－２　環境情報の提供と共有

⑴　数値目標の達成状況

	目標設定項目	基準年度値（H23年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	中間目標値（H29年度）	H25評価	H26評価
1	環境新聞発刊	年6回	年21回	年19回	年29回	年30回	△	△
2	市主催の自然体験事業の参加者数【再掲】	10,462人	10,882人	11,885人	11,808人	10,500人	○	○

⑵　主な取組

①　出雲市の環境ポータルサイト『出雲エコなび』［環境政策課］

地域の省エネ・3R の取組を一層推進することを目的とし環境情報をまとめたポータルサイトを運用しています。省エネ・3R をはじめとした市の環境施策やイベント情報を紹介するとともに、その他環境団体の活動を幅広く紹介しています。

②　エコカレンダーの発行［環境政策課］

毎日の生活の中で楽しく省エネ・3R 活動に取り組んでいただけるよう「エコカレンダー」を作成しました。エコカレンダーには、3R の取組や季節に応じた省エネのポイントなど暮らしに役立つ情報を掲載しました。

③　広報による啓発［環境政策課］

広報いずもにごみ減量等に関する啓発の特集記事を年 4 回（8 月号、10 月号、12 月号、2 月号）掲載しました。

④　生ごみ減量化イベント［環境政策課］

8 月 2 日～3 日に出雲科学館で開催された「青少年のための科学の祭典 2014」に合わせ、来場者に生ごみ減量化に関する啓発活動を実施しました。

⑶　課題と今後の方向性

「1.環境新聞発刊」は、昨年度よりも発行回数は増えたものの、中間目標値は達成できませんでした。今後も市の広報やホームページなどにより、環境に関する情報を積極的に発信します。

Ⅳ　出雲市役所の取組

出雲市役所は、行政機関であると同時に、経済活動の主体としての事業者・消費者です。

また、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づく、１年間のエネルギー使用量の合計が、原油換算値で 1,500 キロリットル以上排出する特定事業者です。

特定事業者はエネルギー消費を管理し、中長期的にみて年平均 1%以上のエネルギー低減をすることを目標とし、技術的かつ経済的に可能な範囲で実現に努めるものとされています。

このように市役所は、他の事業者や家庭に先駆け、自らが率先して温暖化対策を実施することが求められています。

この方策として、「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅢ」や「出雲市役所本庁舎における省エネルギー行動計画」を策定し、エネルギー消費の低減を進めています。

市のエネルギー使用量(原油換算値）の状況

特定事業者	H22年度（基準年）	H24年度		H25年度	
	原油換算kℓ	原油換算kℓ	対前年度比%	原油換算kℓ	対前年度比%
市役所	13,848	13,397	99.0	13,242	98.8
水道局	2,516	2,672	106.3	2,659	99.5
教育委員会	2,322	2,536	100.3	2,551	100.6
合計	18,686	18,605	100.2	18,452	99.2

１　平成２６年度の取組結果等

⑴　市の事務及び事業から発生する二酸化炭素（CO_2）排出量の削減

ア　数値目標の達成状況

	目標設定項目	単位	基準年度値（H22年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	目標値（H33年度）	H25評価	H26評価
1	CO_2総排出量	t-CO_2	8,616	8,858	7,908	7,763	7,757	△	△

イ　二酸化炭素（CO_2）排出量の内訳

● 庁舎関係

	目標設定項目	単位	基準年度値（H22年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	目標値（H33年度）	H25評価	H26評価
1	電気	kWh	10,935,200	10,839,907	10,348,200	10,071,713	9,732,300	△	△
2	灯油	ℓ	401,200	592,023	349,500	377,103	373,100	○	△
3	A重油	ℓ	240,700	208,954	177,000	146,500	228,700	○	○
4	LPG	㎥	35,500	28,145	23,144	22,275	33,720	○	○
5	都市ガス	㎥	120,000	94,270	98,300	97,772	105,600	○	○
6	ごみ排出量	kg	19,600	19,695	21,823	22,225	17,640	×	×

● 公用車関係

	目標設定項目	単位	基準年度値（H22年度）	実績値（H24年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	目標値（H33年度）	H25評価	H26評価
1	ガソリン	ℓ	170,200	148,288	170,000	126,253	153,200	△	○
2	軽油	ℓ	10,500	14,484	13,200	13,098	9,980	×	×

ウ　主な取組

①　冷暖房設備の温度設定管理と室温の適正管理（夏期は 28℃、冬期は 19℃）を徹底しました。

②　職員のウォームビズ、クールビズ（5 月 1 日～10 月 31 日）を実践しました。

③　不要な照明の消灯（昼休み、時間外など）を徹底しました。

④　職員のエレベーターの利用を自粛しました。

⑤　両面コピーや縮小コピーを徹底し、ミスコピー紙や不要になった用紙の裏面を有効活用する取組を実施しました。

⑥　課ごとに重点取組項目（5 項目以上）を設定し、職場単位でのエコオフィスを推進しました。

⑦　各職場に環境活動推進員をおき、エコオフィス推進の実務研修を行うとともに、課ごとに職場内研修を実施し、数値目標や取組項目を周知徹底しました。

⑧　各課における取組状況の確認、評価を行うため、15 職場において内部監査を実施しました。

エ　課題と今後の方向性

市の事務事業に伴う二酸化炭素（CO_2）総排出量や、電気、灯油の使用量はいずれも、基準年度値（平成 22 年度）と比べると、減少しましたが、目標値を達成することはできませんでした。

今後も、使用最大電力のピーク時間帯の分散化や会議室の空調の温度設定範囲の制限に取組むなど、全庁あげて二酸化炭素（CO_2）排出削減行動を推進します。

また、庁舎から排出されたごみの量は、年々増加傾向にあり、新たに重点取組項目に追加しました。内部監査の重点項目として設定し、分別指導等を強化します。

⑵　平成 27 年度における「通勤距離 3km 未満の市職員のマイカー通勤自粛」の取組

ア　数値目標の達成状況

	目標設定項目	単位	基準年度値（H23年度）	実績値（H25年度）	実績値（H26年度）	実績値（H27年度）	目標値（H28年度）	H25評価	H26評価
1	ノーマイカー通勤率	%	43%	54%	51%	44%	80%	△	△

イ　主な取組

①　職員の率先行動として、毎月第 3 週を「市職員エコ通勤ウィーク」と定め、徒歩、自転車、バイク、公共交通機関利用によるエコ通勤を呼びかけています。

②　「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅢ」等に掲げた取組みの推進を職員に呼びかけています。

ウ　課題と今後の方向性

平成 27 年度のノーマイカー通勤率は 44%でした。基準年度値（平成 23 年度）に比べると　1 ポイントの増でしたが、前年度（平成 26 年度）に対しては、7 ポイント減となりました。

通常はマイカーで通勤している職員の中には、ときどき徒歩や自転車など、マイカー以外の方法で通勤している職員がいます。今後は、これらの職員がマイカー以外の方法で通勤する日の割合が増えるよう、環境保全の面からばかりでなく、自身の健康や経済面など多方面からノーマイカーを促します。

出雲市環境レポート

発行日：平成 27年 12月
編集・発行：出雲市経済環境部環境政策課
〒693-8530　出雲市今市町 70 番地
TEL：0853-21-2211（代表）
メールアドレス：kankyou-seisaku@city.izumo.shimane.jp

R100
古紙パルプ配合率 100% 再生紙を使用
VEGETABLE OIL INK
植物油インクを使用しています。